

将来主役になる人を今、戦略の主役として

「暮らして楽しい」まちづくり

有田川という未来 vol. 1
地方創生フォーラム

**暮らして楽しいまちとは
みんなが住みたいまちになる**

ポートランド市開発局事業開発コーディネーターの山崎満広さんとエイミー・ネギーさんをお招きして、講演会を開催しました。

アメリカオレゴン州ポートランド市は「全米で最も住みたいまち」として、世界中から注目されています。50年前は「全米一空気が悪いまち」として、だれも見向きもしなかったポートランド市。そこから現在のように、環境にやさしく「全米で最も住みたいまち」と注目されるようになったのは、自然と共生したまちづくりを行政と住民の方とが一体で進めてきたからだそうです。

事前に山崎さん、エイミーさんと役場若手職員で構成された地方創生チームで田殿保育所やポツポみちを中心に視察を行い、「暮らして楽しいまち」の実現に向けて、ワークショップ形式で案を出しました。これを踏まえ、エイミーさんから「町内の女性が気軽にコミュニケーションをとれるような場が必要」とアドバイスを受けました。

最後には山崎さんから「地方創生にまちの規模は関係ない。重要なのは人。こ

のまちは何を重要視するか、どんなまちの歴史や記憶を将来につなぎたいのかを考えて。今いる人ではなく、将来主役になる人を今、戦略の主役として掲げてください」とのメッセージ。そのまちに住む住民が、まちの未来をつくる主役です。「暮らして楽しいまち」を住民主体でつくる有田川町がスタートしました。



7月21日(火)に行われた講演会の様子。約350人にご来場いただき、メディアにもとりあげられるなど話題を呼びました。

有田川という未来 vol. 2
GIRLS STAND UP, SPEAK UP, THUMB UP!

**ガールズトークから
まちづくりがスタートする**

「有田川という未来」第2弾は、「女子会」をテーマに20〜39歳の女性、100人が参加。ゲストとして、リバースプロジェクトの伊勢谷友介さんと村松一さん、和歌山市を中心に活動している女子会ジュエルズの石本ゆりさんを迎えました。

有田川町では、「おしゃれ、カワイイ、楽しい」で有田川町をもっとよくしたいという女性のアイデアに耳を傾け、そのアクションを応援したいと考えています。後半に行われたアイデアトークでは、



田殿小学校体育館で行われた「女子会」。写真は、輪になってまちづくりを考えたアイデアトークの様子です。さまざまな意見が出ました。